

鈴木医師の医療講演

子宮頸がんについて

4月26日、一宮市の奥公民館にて、当院の産婦人科部長 鈴木医師が奥町連区女性の会に参加し、教養講座の講師として今話題の「子宮頸がんについて」講演を行いました。講演の内容は子宮頸がんの原因や昨年認可された予防ワクチン、子宮頸がん検診に関してなど。検診の大切さなどを伝えることができ、盛況のもと終えることが出来ました。

がんは早期発見が大切！皆さん、まずは検診を受けてみませんか？各自治体では、がん検診補助を行っています。一宮市の補助制度はP一宮市 検診 検索で検索できますので、宜しければご確認ください。



【脳卒中診療科の特徴】

- ① 24時間365日体制で専門医が対応する脳卒中診療
- ② 脳出血、脳梗塞、くも膜下出血の緊急手術に対応
- ③ SPECT、320列CT、3.0T-MRI
- ④ 循環器内科、一般内科との連携による早期からの合併症予防
- ⑤ 周術期を含め、重症疾患に対しICU(集中治療室)での集学的治療
- ⑥ SCU(脳卒中集中治療体制)による早期リハビリテーション
- ⑦ 日本脳卒中学会専門医教育施設
- ⑧ 優秀な医療福祉相談室のスタッフによる、在宅、施設に向けての充実したサービスの提供

INFORMATION

ブログリニューアルのお知らせ

以前からあったブログですが、リニューアルし3月より平日は毎日更新しています。病院からのイベントのお知らせや、スタッフお勤めの美味しいお店情報などを載せています。当院ホームページ、又は携帯電話からぜひご覧下さい。

平日毎日更新中!!

あんずぶろぐ 検索
http://kyoryokai.blog48.fc2.com/

携帯はこちらのQRコードよりアクセスできます!



産婦人科部長 鈴木医師

脳卒中診療科

2010年5月より、地域の脳卒中診療の充実のため、脳卒中診療科を開院致しました。t-PA(アルテプラゼ静脈注射)などによる超急性期の血栓溶解の治療から、破裂脳動脈瘤に対してはクリッピング術、コイル塞栓術の選択の幅をもって最善の治療を提供していきます。保存的治療となる場合のラクナ梗塞(細い血管が詰まってしまう小さな脳梗塞)、アテローム血栓性脳梗塞(太い血管が詰まってしまう脳梗塞)、心原性脳梗塞(心臓で出来た血の塊が移動し、脳の太い動脈に詰まって起こる脳梗塞)では、医療機器であるSPECT、320列CT、3.0T-MRIにより急性期での病型診断を行い、脳卒中診療ガイドラインに則った治療を行っています。

つボイノリオさんとの3者対談

5/28

左から▶
大野医師
つボイノリオさん
上林院長



つボイノリオさんとの3者対談の様子が5月28日、中日新聞の一面に掲載されました。1年前に心筋梗塞で倒れられたつボイさん。当院の循環器内科部長 大野医師、上林院長らの3人で「心筋梗塞」についての対談が行われ、その様子が掲載されました。

アプリコット通信 編集後記

こんにちは。いかがお過ごしですか？もう夏も真っ盛り!太陽も毎日元気で…暑いですね。さて、実はわたくし、今年初めて一宮での夏を過ごします。去年までは東京に住んでいました。こちらの夏は暑いぞ!!という同僚の言葉が身にしみてわかりつつある今日この頃です。皆さん、夏バテや熱中症にはお気を付け下さい。

一宮西病院広報紙

アプリコット通信



vol.2

2010年7月15日発行

発行 社会医療法人 杏嶺会(きょうりょうかい)



産婦人科病棟 プレママ体験ツアー

6/12・26・7/3

質問コーナー



産婦人科医師や助産師さんとの相談コーナーです。これから出産予定の方も、予定はまだの方も、またすでに出産をご経験の方も見えて、みんなでざっくばらんな座談会のようなカタチになりました。

産後マッサージ



西病院の産後サービスの中には出産後のリラクスマッサージがついています。出産で体力消耗したママに、なるべく早く回復してもらえよう心をこめてマッサージしており、大好評です。

お部屋見学



新生児室やお部屋、分娩室・LDRなどを見学。ママの気持ちをわかってもらえるようにとバリエーションも体験し方には貴重な経験です。実際に出産後1日目には助産師さんの沐浴指導を受け、次の日から赤ちゃんに分娩台は最新式でゆったりしています!『こんな分娩台、テレビでも見たことない!』とみなさん驚かれています。

LDR説明



分娩台体験



沐浴体験



産科食試食会

病気での入院ではないのでわたしたちは産科食と呼んでいます。産科食は分娩で体力を使われたママのために栄養のバランスと健康を考えて心をこめて考えたメニューです。この日のメインデッシュは鶏もも肉の香草焼きでした!



赤ちゃんの人形を使いながら、実際に沐浴の体験をしていただきました!実際には出産後1日目には助産師さんの沐浴指導を受け、次の日からご自分で沐浴をしていただきます。

乳がん検診

乳がん検診は「乳がんによる死亡率を減少させる」ことを目的として行われています。日本人女性の婦人科がん検診の受診率は先進国中、最下位!!
さらに発症率は増加傾向にあります。がんは早期発見が大切です。
皆さん、ご自分の体の為にも積極的に検診を受けましょう。

? どんな検査を受けるの?

A 当院の1次検診

当院では、診断の確実性を上げるため

・触診・超音波(エコー)検査・マンモグラフィ検査

の併用検診を行っています。

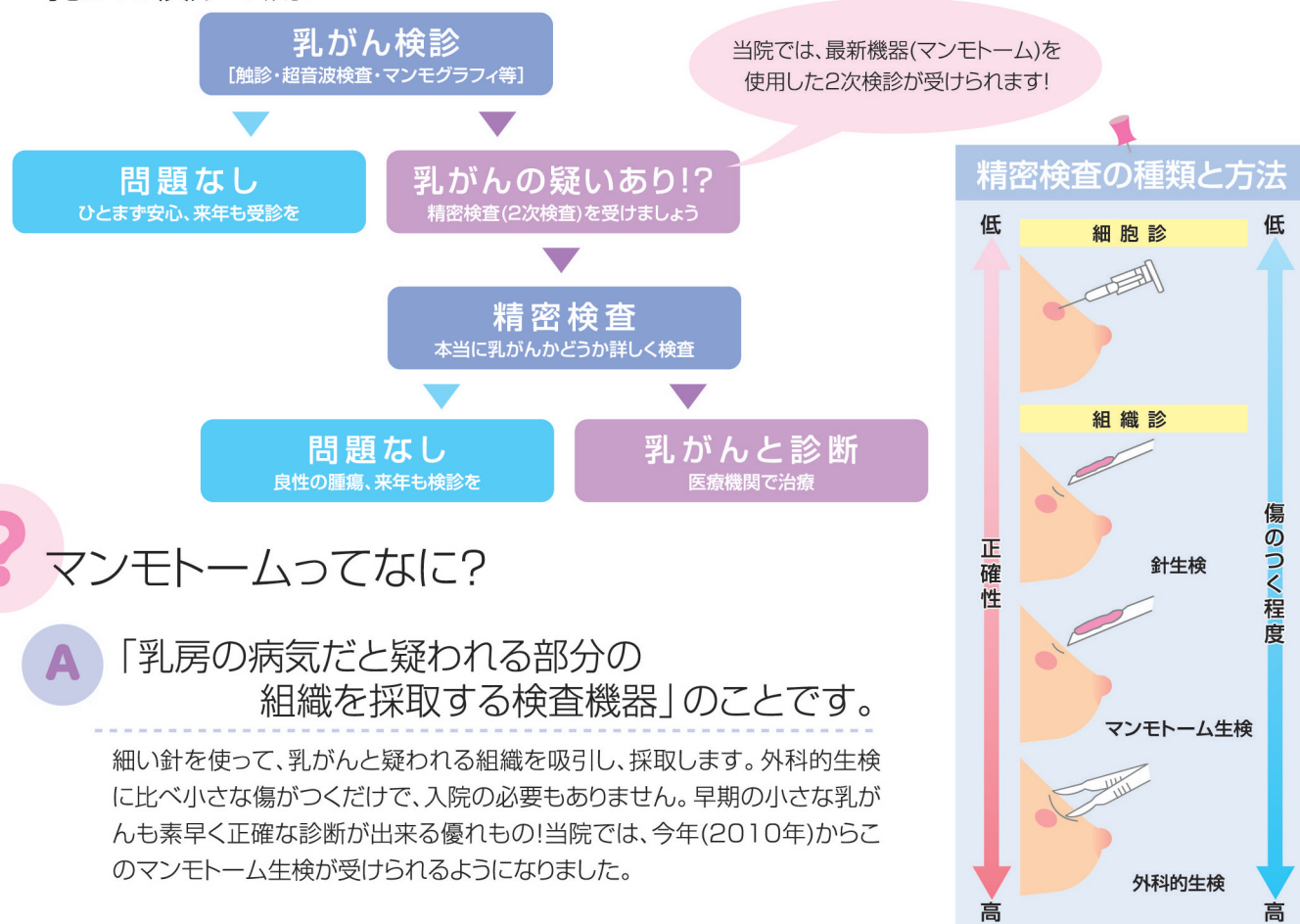
*妊娠中や妊娠の可能性のある人、授乳中の人などは受診できない検査があります。

当院の精密検査

精密検査では、病気と疑われる組織の一部を採取し、顕微鏡で調べます。これを生検(生体検査)といいます。乳がんの診断方法は細胞診、組織診がありますが、組織診の検査の方法は3通りあり、近年では正確性と傷跡の少なさからマンモトーム生検が注目されています。

・針生検・マンモトーム生検・外科的生検

乳がん検診の流れ



? マンモトームってなに?

A 「乳房の病気だと疑われる部分の組織を採取する検査機器」のことです。

細い針を使って、乳がんと疑われる組織を吸引し、採取します。外科的生検に比べ小さな傷がただけで、入院の必要もありません。早期の小さな乳がんも素早く正確な診断が出来る優れもの!当院では、今年(2010年)からこのマンモトーム生検が受けられるようになりました。

Topic 女性特有がん検診補助制度

意外と知らない!? がん検診には、自治体補助があります。

各自治体が女性特有のがん検診を推進しています。
一度、自治体のホームページをひらいて内容を確認してみたいはいかがでしょうか?

ちなみに一宮市では で検索できます。

協力医療機関を確認し、受診しましょう。

♪HAPPYな生活は、健康から♪



オレンジクローバー
子宮頸がん予防の
大切さを伝える
シンボルマーク。



ピンクリボン
乳がんの撲滅・検査
を推進する運動の
シンボルマーク。

熱中症ってなに?

～実は生命の危険もある怖い病気～



夏に近づくにつれ、耳にすることが多くなる言葉です。
熱中症は頭痛・めまい・けいれん・失神など
その他様々な症状が現れます。

屋外だけじゃない。室内に居る時も気をつけよう!

熱中症は室内でも条件次第で起こる病気です。特に高齢者や乳幼児などは周囲の人達の気配りと見守りが必要です。

そんな怖い熱中症を防ぐには??～予防で大切なこと～

予防三原則:水分、塩分補給 休憩 涼しい服装

体調管理に気をつけ、無理をしない。何よりもこれが一番の予防方法です。

もし熱中症になってしまったら!? 応急処置～3つの基本～

- 休息** ①体を休ませ、涼しい場所へ移動
・服をゆるめる
- 水分補給** ③水分・塩分をとる
・スポーツ・ドリンクなどを飲む
※ただし、無理に飲ませない
※けいれんしている場合は、
塩分濃度0.9%の飲み物が◎
- 冷却** ②体を冷やす
・身近にあるもので送風
・水タオルでマッサージ
・冷たいもので体を冷やす



なにより大切なのは医師の診断を受けること! 速やかに救急車で病院に向かいましょう。



予防ドリンクレシピ

準備:水500m、塩少々、ハチミツ大さじ1、レモン汁小さじ1

これをペットボトルに入れて混ぜるだけ! 持ち運びできるから、外で活用できるよ☆

糖尿病のつどい・教室

糖尿病のつどい

参加方法 講演日/毎月第3水曜日
自由参加 場 所/一宮西病院 内科待合ホール
予約不要 時 間/13:00~14:00
参加者/どなたでも
費用/無料



糖尿病教室

参加方法 講演日/毎月第2月曜日
外来窓口にて、お申込み下さい 場 所/一宮西病院
要参加予約 時 間/10:00~14:00
参加者/どなたでも
費用/無料

講演内容が毎月変わる「つどい」と、より詳しい糖尿病の話聞ける「教室」。両イベントともアットホームな雰囲気の中、講師が分かりやすく糖尿病について講演しています。初めて参加するという方もぜひお気軽にご参加下さい。
☆講演内容のスケジュール等は、当院外来受付にてお尋ね下さい。

「糖尿病のつどい」と「糖尿病教室」(以下「つどい」、「教室」)は、一宮西病院のイベントの1つ。糖尿病についての理解を深めて頂きたいと思い、毎月定期的開催しています。今回は、そんな「つどい」の様子をちょっとだけ写真でご紹介します!



※「つどい」の様子。6月は「糖尿病の検査について」、「お薬と低血糖・シックデイについて」の講演を行いました。